

ひまわり

北浦小学校で出前講座開催！



きみたちのご先祖様が使っていたかも！？

平成22年2月13日、延岡市北浦公民館にて「知られざる北浦の歴史—東九州自動車道遺跡発掘調査報告会—」を延岡市教育委員会との共催で実施しました。会場には遺跡から出土した土器や石器など約130点と、遺跡紹介パネルを展示しました。土器や石器のほかに植物の種子や魚の骨などにも人気が集まっていました。

この報告会では、新たにわかった北浦周辺の歴史について多くの質問が出され、会場全体が、「地元の歴史を詳しく知りたい！」という熱気に包まれていました。

また、2月19日には北浦小学校の6年生を対象に出前講座を開催しました。地元で出土した土器や石器に加え、縄文時代の調理施設を教室に復元したものを囲み、参加した児童のみなさんは調査員の話に熱心に耳を傾けていました。



「知られざる北浦の歴史」発見！



発掘調査速報



県内各地、いろいろな時代の遺跡がめぐる押し！

ここに挙げた遺跡の他にも、県内各地で発掘が行われています。みなさんの周りでも調査しているかも!? 室倉調理歴史文化財センターでは、調査のほかにたくさんの催しものを企画しています☆

高鍋町

「青木の古代」開館



地元の方が石斧をつくって展示していました。



1 下原遺跡

児湯郡藤町大字川北字下原

石器の出土状況

下原遺跡では旧石器時代～縄文時代早期にかけての石器を中心に多くの遺物が出土しています。遺構は旧石器時代の礫群、縄文時代の集石遺構が見つかっています。これらに使われた礫は、遺跡の近隣で拾えるものを使用しており、赤く変色していました。これは火を受けた痕跡と考えられます。



2 平峰遺跡 (3次調査)

郡城市平塚町

五角形の住居

平峰遺跡では四角形の住居のほかに、全国的にも珍しい五角形や六角形の古墳時代中頃の住居跡が見つかっています。住居跡の中からはお供え物などを乗せるための高坏を中心に土器が多く出土しています。その中には赤く塗られた土器も見られ、日常的に使う甕や甕に混ぜる赤い土器の存在は、この場で行われたマツリマツリの余韻を感じさせます。



熱心に展示遺物をのぞき込む人々



上江地区「青木の古代」オープニング記念

平成 22 年 1 月 30 日、高鍋町青木地区集落センター内に展示施設「青木の古代」がオープンしました。この「青木の古代」は、埋蔵文化財センターで行った発掘調査の作業員さんが発起人です。「地元の歴史を子ども達につたえたい!」という思いから、プロジェクトは動き出しました。展示ケースには、地域の方々が持ち寄った自分たちの家や畑から出土した土器や石器が、解説文とともに展示されています。オープニング記念として、埋蔵文化財センター職員が青木地区周辺で実施した発掘調査で出土した遺物を持ちこんで解説を行いました。

この日は、青木地区や地区外から 80 名を超える来館者があり、「うちの近くでこんなに宝物がでちゃって〜!？」と一生懸命ケースをのぞき込む人たちに大にぎわいました。



古墳出土の鉄のやじり

3

西の城跡

延岡市北川町長井

現地説明会の様子

西の城跡は中世の山城として調査が開始されましたが、実は山城がつくれるまえに古墳群が存在していることがわかりました。山城の下に眠る古墳からは、5 世紀代の鉄の劔や剣など多くの鉄製品が見つかっています。北川町での本格的な発掘調査は今まで行われておらず、今回の調査で空白だった北川の歴史の一部が明らかになりました。平成 21 年 10 月 10 日に現地説明会を行ったところ、見学者は北川町内を始め、県内外あわせて約 100 名にのぼりました。



埋文コラム

江戸時代のゴミ穴から でてきたものは…

一出土したカツオの骨

延岡市熊野江のカラ石の元(ちからいしのもと)遺跡では江戸時代末期のゴミ穴が見つかりました。この穴からは、当時の食べ物と思われるものが出土しました。その中に含まれていた魚の骨を調べたところ、カツオの骨が最も多く含まれていました。その他、スズキ、アジ、サメ、エイ類の骨のほか、カキ、アワビなどの貝類、オオムギ、コムギ、アワ、キビの種子も見つかっています。

文献によると、江戸時代末期には北浦から延岡市北部の海岸域では、カツオやイワシなどが多数捕れていた記録が残っています。海岸部からやや山手に入った場所¹に位置する遺跡ですが、海で捕れた魚貝類や栽培植物が食べられていたことを垣間見ることができました。当時、車もない時代新鮮な魚貝類を運び、食料としていた人々の姿が目に見えてくるようです。



佐土原高校へ感謝状授与



11号表面

埋蔵文化財通信は、本号で12号になります。前号よりタイトルを「ひむか」に変更し、デザインを一新しました。リニューアルにあたって、佐土原高校産業デザイン技術部の生徒さんたちにデザインを担当していただき、忙しい学校生活の中、明るく親しみやすい雰囲気通信を作っていただきました。

2009年11月3日、本センターでは佐土原高校へ感謝の意を表し、施設公開に合わせて感謝状授与式を行いました。授与式には施設公開にお越しいただいた多数の方々にも参加していただきました。デザインを担当していただいた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。

「ここまでわかったひむかの歴史」最新情報



縄文時代の「食」を探る

《講演》 3/27(土)

午後1時30分～3時

講師：岸田 裕一

入場料：無料

遺物公開期間：3/20～

【会場・問合せ先】

宮崎埋蔵文化財センター分館

県総合博物館2F

〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4

TEL:0985-21-1600 FAX:0985-26-2634

http://www.miyazaki-archive.jp/mailbus/index.html

次回の予定

5月22日(土)「県境～北川間の調査成果から」
森ノ上遺跡他

埋蔵文化財センター
分館にて
講座を行います。



埋蔵文化財センター 分館
宮崎市神宮2丁目4-4 TEL:0985-21-1600

埋蔵文化財通信 ひむか 第12号

発行日 2010年3月12日

編集発行 宮崎埋蔵文化財センター

本館 〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地

TEL (0985) 36-1171

FAX (0985) 72-0660